



「海のお仕事体験プロジェクト（海と日本2022）」 実施報告書

目次

- 事業概要
- 事業実績と総括
- 事業内容
 - 体験事業
 - WEB事業
- メディア露出実績

事業概要

事業目的	子どもたちが、日常の中では見えにくい「お仕事」に触れることで、「海」を知り、「海」を身近に感じ、「海」の問題を自分ごととして捉え、多角的にモノゴトを捉える視点を養うとともに、「日常生活における意識や行動変化」を起こすこと。
事業目標	○海のお仕事体験のエリアおよび連携先を広げ、ブランド力の強化を図り、事業推進規模の拡大を図る。 ① 集客力が強く、パッケージ化された「漁師・水族館」におけるコンテンツを、各地域のサテライトとなる事業者と連携を結び、展開地域を拡大する ② 点ではなく地域全体で面によるお仕事体験を集中実施。一定期間内に、特定地域で集中的に実施することで、行政の巻き込みや地域事業者が自身の活動エリアを超えて子供とつながる機会を提供するとともに、全体感で対外的な発信を強化。 ③ 一般企業や社会教育機関、相応規模の行政などと連携を模索し、コンテンツ幅と取組規模の拡大を図る。
事業内容	【体験事業】 ・ 「海のお仕事」体験イベントの企画・運営 【WEB事業】 ・ 「海のお仕事体験」WEB/SNS発信
コンセプト等	『海のお仕事図鑑プロジェクト』は、子どもたちが“リアル”な海のお仕事に触れることにより、海水浴等のレジャーとしての「海」だけではなく、私たちの日々の生活を支える産業や文化など多角的な視点からの「海」を知ること、「海」を身近に感じ「海」の問題をより深く自分ごととして考えるきっかけを創るとともに、その過程で「ものごと」を多面的に捉える力を養ってほしい、との思いで推進している取組みです。 仮想空間ではない「本物の仕事現場」で「本物の仕事」を体験として提供するもので、3C（CHANCE（機会）・CHALLENGE（挑戦）・CHANGE（変化））を子どもたちの成長テーマに据え、そのため、「お仕事」として子どもたちに捉えてもらえるように、楽しいのみならず一定の責任感・緊張感をもって取り組めるストーリーづくりや体験の流れ、スタッフの振る舞いや小道具などを用いて夢中になれる世界観づくりを強く意識しています。 また、本プログラムの構築にあたっては、協力事業者において次年度以降の「自走」を前提とした継続実施の可能性を模索した内容および収支計画を念頭においています。

事業実績と総括

□2022年度実績

【体験】

協力事業者数:25業者

エリア事務局連携数:6エリア 18本開催

総企画イベント数:47本(新規:32本,半自走:10本,自走:5本)

※うち中止:6本

参加者総数:362名(親・子含め)

【WEB】

総PV数:167,181回以上

(2022年5月~2022年10月)

※イベント開催ピーク月のみ測定

2021年度実績

協力事業者数:25業者

総イベント数:26本(新規:17本,既存:9本,中止:4本)

子どもの参加人数:207名(うち子ども:約100名以上)

総PV数:152,807回以上

(2020/5月~2020/10月比)

□2022年度総括と展望

□お仕事体験の総括について

2022年度は、地域行政などを巻き込んだ地域全体での取り組み、および、4つの拡大（実施エリア・コンテンツ幅・ブランド認知拡大・連携企業）を目標に活動を進めました。結果、エリア事務局との連携により全国10県以上での開催実績となり、また伊豆半島全域での「こどもわーく夏祭りin伊豆半島」を夏休み期間に集中開催したことで、漁師をはじめ、水産研究所や富士急行・伊豆急行などのインフラ企業も巻き込み、コンテンツ幅の拡大にもつながりました。さらに、旅行ガイドマップで有名な「まっぷる」ブランドを持つ昭文社とのコラボ体験実施により、「まっぷる 夏休みおでかけ特集」に特集企画が掲載され、全国書店に並ぶなど、海のお仕事体験のブランド認知拡大に大きく貢献しました。

1. 地域行政・主要団体を巻き込んだ面での展開 → 「こどもわーく夏祭りin伊豆半島」
2. 実施エリアの拡大 → エリア事務局連携による全国10県以上でのお仕事体験の開催
3. コンテンツ幅の拡大 → 水産研究、フェリー船等のインフラ、海上保安庁など体験職種が拡大
4. ブランド認知の拡大 → まっぷる「夏休み特集号」にて、伊豆半島企画の特集が生まれ、全国の書店へ
5. 連携企業の拡大 → 上記の昭文社とのコラボによる「まっぷるのお仕事体験」の実施

23年度の更なるお仕事体験プロジェクトの拡大に向けた運営体制および実績が構築できたと考えます。

□WEBの総括について

専用WEBサイトでは、イベントのピーク開催期間である5月~10月の総PVが16万回以上となり、前年度比で109%を達成。さらに今年は、お仕事体験ファンの囲い込みを行うべく、LINEアカウントを開設し、わずか数か月で友達登録が700名以上に達しました。次年度は新規ユーザーを獲得しつつ、様々な海洋産業に触れるリピーターを増やす活動を同時に進めていきます。

□今後に向けた課題

各事業者が自走化を目指すためには、安定的に集客（流通）ができ、体験で利益が生まれ出す状態が必要不可欠。そのために、首都圏を中心に各地域でも、海のお仕事体験ブランドの発信力を強化することで、新規参加者の増加を狙い、かつリピーターの囲い込みを同時に行いながら、安定的に集客できるスキームの検討が必要と考えます。

事業内容 - 体験事業 -

企画設計の要旨等

■コンセプト

体験事業の本質的な目的や世界観づくりに係る指針を策定

【共通テーマ】“実際の仕事現場”で“本物の仕事”体験を“仕事の達人”が提供する。

海を取り巻く現況を海に携わる人から
直接子どもたちへ伝える。

“実際の仕事現場”で“本物の仕事”
体験を“仕事の達人”が提供する。

日常生活における意識や行動を見直
すキッカケを与える。

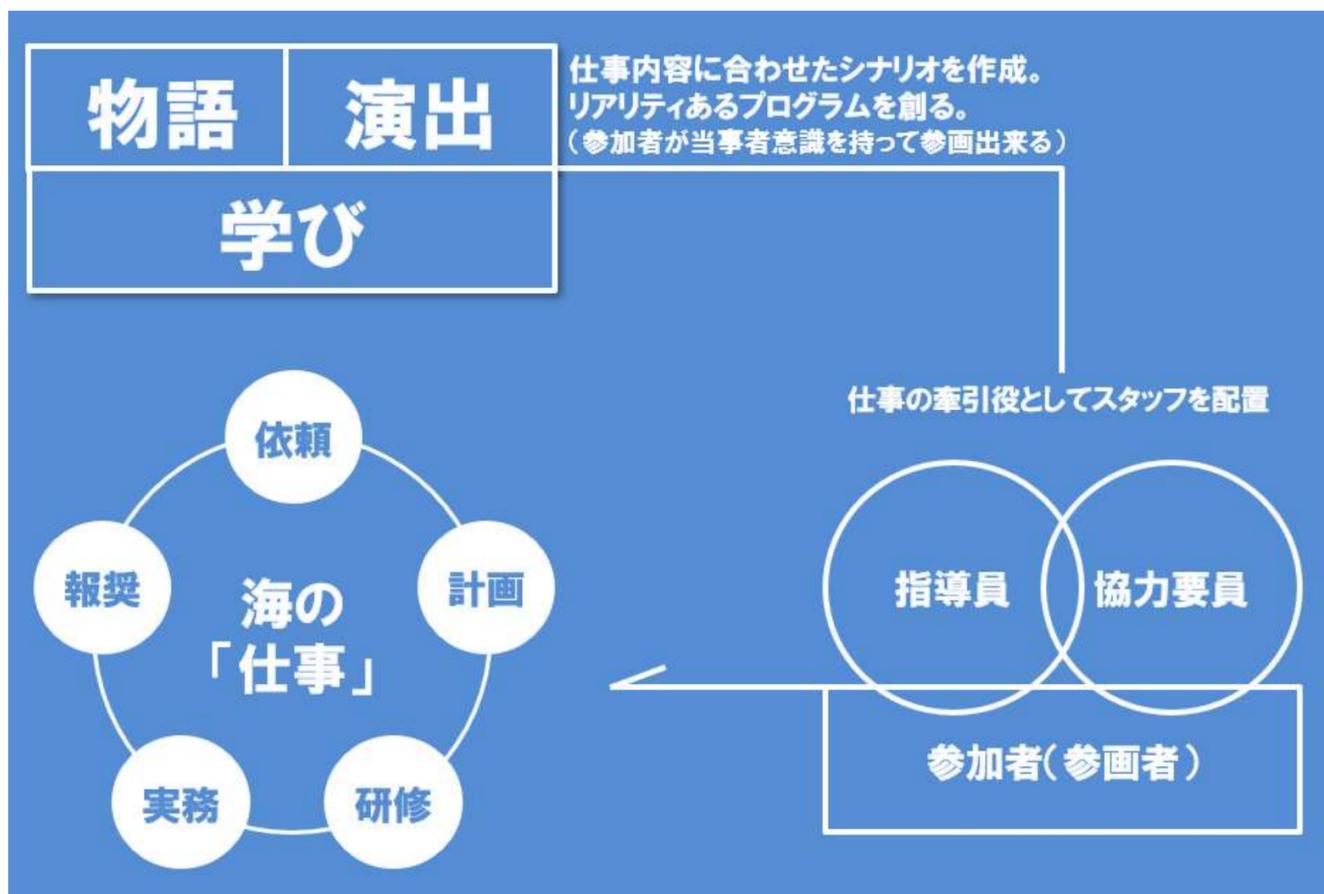
Chance
— 機会 —

Challenge
— 挑戦 —

Change
— 変化 —

■世界観作りの施策

“リアルな”なお仕事体験を創出するためのストーリーを設計



■ お仕事の流れ

全てのお仕事体験にお仕事の流れを組み込み実施しました。

入社式



自己紹介や挨拶を実施。子どもたちの気持ちを「お仕事モード」に切り替える非日常感を演出。

※各お仕事ごとにミッションを用意し、達成に向かって「研修→お仕事」を行いました。

研修



リップやホワイトボードを用いた座学の実施。お仕事の前段階として知識の素地を作る。

お仕事



1つの作業体験で終始せず、お仕事ミッションに対して複数の「業務」を実践。

レポート作成



お仕事を実施して感じたこと、学んだことを振り返る時間を設け、記憶と記録に残せるように設計。また、自由研究にも活用できるものとして準備。

給与の受け取り



お仕事を終了した証として、給与(イベント専用のお金)と名刺を授与。

お買い物



イベント専用のお金を使っでの買い物。

各イベントの概要等

新型コロナ情勢下においても、新規に14の事業者・職種のお仕事体験を開発・開催。
また、継続メニュー確立を目指し、14のプログラムを前年に引き続き実施。さらに全ての継続プログラムに関して、備品やレポートを除く運営部分を、事業者へ委託できるレベル(半自走化・自走化)での実施が可能となりました。

さらに、全国へのお仕事体験拡大に向けて、6エリアの事務局と連携した体験を18本開催。
各地の海で、地域に根付いた海のお仕事を体験できる環境が整いつつある。

■ イベント基本情報一覧

新規開発・実施イベント

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	参加人数
1	海の安全を守るお仕事を学ぼう！	下田海上保安部	静岡県・下田	2022年7月23日	20名
2	海で人や荷物を安全に運ぶお仕事をしよう！	駿河湾フェリー	静岡県・土肥	2022年7月31日	10名
3	まっぷるのキッズ編集部員になって無人島を紹介しよう！	まっぷる /伊豆半島ジオガイド協会	静岡県・下田	2022年7月31日	8名
4	幼魚水族館のお仕事をしよう！	幼魚水族館	静岡県・清水町	2022年8月6日	21名
5	水産研究員のお仕事をしよう！	水産・海洋技術研究所	静岡県・下田	2022年8月7日	9名
6	柿田川湧水の環境を守るお仕事をしよう！	清水町生活安全課	静岡県・清水町	2022年8月27日	19名
7	伊豆急で特別体験！ オリジナルデザインの車両を考えよう！	伊豆急行	静岡県・伊東	2022年8月27日	10名
8	海で人や荷物を安全に運ぶお仕事をしよう！	富士急マリンリゾート	静岡県・熱海	2022年8月28日	9名
9	ひがたの貝がらで水鳥の休み場所をつくろう	谷津干潟観察センター	千葉県・習志野	2022年8月28日	5名
10	わかめ漁師のお仕事をしよう！	小坪漁業協同組合	神奈川県・逗子	2023年4月1日	6名
11	佐渡の三枚網漁師のお仕事をしよう！	宿根木 お料理あなぐち / 地域おこし協力隊	新潟県・佐渡	天候不良のため中止	-
12	伊豆の海と山の関係を考えてみよう ～川のお仕事編～	伊豆未来塾	静岡県・南伊豆	コロナ感染拡大の為中止	-
13	伊豆の海と山の関係性を考えてみよう ～漁師のお仕事編～	伊豆未来塾	静岡県・南伊豆	コロナ感染拡大の為中止	-
14	里海と里山のお仕事を体験しよう！ in岩首	岩首談義所 / 地域おこし協力隊	新潟県・佐渡	天候不良のため中止	-
延べ参加人数					117名

前年度からの継続実施 半自走イベント

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	参加人数
1	定置網漁師のお仕事をしよう！	網代漁業	静岡県・熱海	2022年7月24日	20名
2	海の手配師、石垣幸二さんのお仕事@静岡県	ブルーコーナー	静岡県・沼津	2022年7月30日	10名
3	サンゴ保全のお仕事をしよう！	平沢マリンセンター	静岡県・西伊豆	2022年8月20日	8名
4	深海漁師のお仕事をしよう！	長兼丸	静岡県・焼津	2022年10月8日	11名
5	刺し網漁師のお仕事をしよう！@神奈川県	小坪漁協	神奈川県・逗子	2022年10月9日	18名
6	テトラポッドで私たちの生活を守るお仕事@茨城県	不動テトラ	茨城県・土浦	2022年10月22日	4名
7	刺し網漁師のお仕事をしよう！@神奈川県	小坪漁協	神奈川県・逗子	2022年10月30日	18名
8	深海漁師のお仕事をしよう！	長兼丸	静岡県・焼津	2022年11月5日	11名
延べ参加人数					100名

前年度からの継続実施 自走イベント

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	参加人数
1	漁師のお仕事をしよう！	大洗漁協	茨城県・大洗	2022年7月2日	20名
2	佐渡漁師のお仕事をしよう！	虫先集落/UKUU	新潟県・佐渡	2022年7月22日	2名
3	イルカ飼育員のお仕事をしよう！	下田海中水族館	静岡県・下田	2022年7月23日	5名
4	深海水槽をPRするお仕事をしよう！	下田海中水族館	静岡県・下田	2022年8月20日	4名
5	漁師のお仕事をしよう！	大洗町漁協	茨城県・大洗	2022年9月17日	18名
延べ参加人数					49名

以下は事業者との関係構築ができており、実施予定であったが、天候/新型コロナウイルスの感染状況等により、開催を見送った継続実施枠のお仕事体験。

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所
1	わさびを収穫するお仕事をしよう！	藤井わさび農園	静岡県・西伊豆
2	水中カメラマンのお仕事をしよう！	SARA	千葉県・館山

エリア事務局オプション開催一覧

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	参加人数
1	豪華客船クルーのお仕事をしよう！ @神戸市	株式会社神戸クルーザー (サンテレビ：兵庫)	兵庫	2022年8月13日	9名
2	"見えないものをみる" 技術で海のゴミ問題にチャレンジ！	古野電機株式会社 (サンテレビ：兵庫)	兵庫	2022年8月22日	4名
3	人々の暮らしを支える港のお仕事をしよう！ @神戸	株式会社上組 (サンテレビ：兵庫)	兵庫	2022年8月24日	5名
4	キッズチャレンジ！ キララ多岐「海辺の朝市」で特産品を販売	キララ多岐 (TSKエンタープライズDC：島根)	島根	2022年9月18日	2名
5	スーパーみしまやでお魚売場の仕事に挑戦	みしまや (TSKエンタープライズDC：島根)	島根	2022年9月24日	5名
6	地元で獲れた鮮魚で鮮魚盛り & 紅ズワイガニで焼きガニ作りを体験！	皆生温泉 料理旅館松涛園 (TSKエンタープライズDC：島根)	島根	2023年1月22日	5名
7	"カニが主役！" 小さな水族館でお仕事をしよう！ @鳥取県	かにっこ館 (日本海テレビ：鳥取)	鳥取	2022年9月23日	5名
8	ちくわのまち鳥取で「ちくわマスター」になろう！ @鳥取県	とうふちくわの里 ちむら (日本海テレビ：鳥取)	鳥取	2023年1月9日	5名
9	地元スーパー「Sマート」でお魚売り場の仕事に チャレンジ！@鳥取県	株式会社 エスマート (日本海テレビ：鳥取)	鳥取	2023年3月19日	6名
10	川博士になって来館者を案内しよう！ inかわはく	川の博物館 (テレビ埼玉：埼玉)	埼玉	2022年11月23日	6名
11	実験に挑戦！埼玉の環境博士になろう@埼玉県	環境科学国際センター (テレビ埼玉：埼玉)	埼玉	2022年12月3日	10名
12	魚屋 sakana bacca で働いてみよう	Sakanabacca (テレビ埼玉：埼玉)	埼玉	2023年2月25日	6名
13	煮干しいりこ生産量 日本一の長崎県 "天洋丸" で漁師体験！	株式会社 天洋丸 (KNT テレビ長崎：長崎)	長崎	2022年11月26日	6名
14	海きららでイルカトレーナーのお仕事をしよう！ @長崎県	九十九島水族館海きらら (KNT テレビ長崎：長崎)	長崎	2023年1月22日	4名
15	蒲鉾屋店舗数全国1位の 長崎県のしきしま蒲鉾で「蒲鉾職人」になろう！	しきしま蒲鉾 有限会社シキシマ (KNT テレビ長崎：長崎)	長崎	2023年3月11日	5名
16	お豆腐づくりを体験してみよう！	八光食品工業 (NBS 長野放送：長野)	長野	2022年10月23日	5名
17	新鮮な魚を仕入れて販売してみよう！	長野県Aコープ (NBS 長野放送：長野)	長野	2022年11月5日	5名
18	水族館で飼育員さんのお仕事を体験してみよう！	上越市立水族博物館 (NBS 長野放送：長野)	長野	2022年11月12日	3名
延べ参加人数					96名

※子どもの人数のみ集計

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

■各イベントの実施概要（新規開発実施イベント：全10種/10回開催）

海の安全を守るお仕事を学ぼう！

お仕事ミッション：

みんなが楽しく安全に海を楽しめる様にする

【受入事業者】
下田海上保安部

【開催日】
2022年7月23日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
子ども20名



【研修/実践内容】

- ①海上保安部のお仕事説明
- ②人口呼吸 / AEDの使い方 / 心臓マッサージ方法 / ペットボトルの救助方法 / 救命胴衣の説明
- ③巡視船の船内見学

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海上保安部の仕事を理解し、実践を通して、海の楽しさと危険性

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	3.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、海難救助や警備等、様々な形で海の安全を守っている海上保安官の仕事を理解し、海の安全の維持することの難しさを実感し、救急救命、救助訓練を体験したことで人命救助の大切さを学んだ。保護者からは「今回おぼれた方への対応を学べたので、次回は自分がおぼれたときの対応を学びたい」等の声をいただき、海の危険と人命救助の大切さを考えるきっかけになったと推測できる。

海で人や荷物を安全に運ぶお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

人や荷物を乗せて船を安全に運航する

【受入事業者】
駿河湾フェリー

【開催日】
2022年7月31日

【開催場所】
静岡県・土肥

【参加人数】
子ども：10名



【研修/実践内容】

- ①運航の基礎知識学習
- ②船内案内
- ③ロープワーク
- ④チケット回収

【体験を通して伝えたいこと】

- ・船の安全な運航に関わるスタッフの努力
各部署の協力で事業が成立していることの理解

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.5
自走度	3.5
体験の質	3.5
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、フェリー運行の基礎知識を学び、綱取りを見学し出航。デッキブラシで甲板のお掃除等を体験。フェリーを安全に運行し、たくさんのお客さんに乗船してもらうために様々な努力をしていることを学び体験しました。保護者から「ただフェリーに乗るだけでなく駿河湾フェリーや駿河湾について学ぶことができ、とてもおもしろかった。」という感想から、海の魅力と船を安全に運行することの重要性を意識するきっかけになったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

まっぷるのキッズ編集部員になって
無人島を紹介しよう！

お仕事ミッション：
自分だけのオリジナルまっぷるを作る

【受入事業者】
まっぷる
/ 伊豆半島ジオガイド協会

【開催日】
2022年7月31日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
子ども8名



【研修/実践内容】

- ①まっぷるへとして観光マップ制作
- ②島の磯の生物、地質、植物など基礎知識や特徴を学ぶ

【体験を通して伝えたいこと】

- ・情報を通して人を観光地（海）へ運ぶことができること
- ・観光ガイドなどは地域の協力があって作成できること
- ・海のゴミ問題など

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	3.5
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、無人島探検と取材を通じて、島の植物や磯生物、地形・地質等を学び、自分だけの観光スポットを作り、世界に一つだけの観光マップを完成させました。保護者から「ガイドさんに説明してもらわないと気付けない小さなことなど、たくさん教えてもらい、とても良い経験になりました。」という感想から、観光情報の重要性を意識するきっかけになったと推察できる。

幼魚水族館のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：
幼魚の小さな体でたくましく生きる進化や工夫を知る

【受入事業者】
カリブコラボレーション

【開催日】
2022年8月6日

【開催場所】
静岡県・清水町

【参加人数】
子ども：8名



【研修/実践内容】

- ①幼魚の生態、環境を学ぶ
- ②展示をする水槽の設備を知る・準備の実践・展示内容キャッチコピー作成

【体験を通して伝えたいこと】

- ・小さな体でたくましく生きる進化や工夫について
- ・幼魚の生態・環境・海の偉大さ / 感謝の心
- ・好きなことを仕事の面白さにつなげる

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

館長さんから幼魚の説明と岸壁のゴミと一緒に展示する意味を伺いながら、様々な飼育体験し、展示方法を考え「水槽のキャッチコピー」「見てほしいポイント」「展示水槽の絵」を提案。保護者からは「館長さんから、プレゼンとキャッチコピーを作るポイントなどもお話してくださり、深い学びになりました。大好きでいつも見ている魚を自分以外の方にも楽しんで学んでもらうには…？と、普段と違った視点で魚と向き合えて満足してました。」という感想から、生き物の命の尊さとチームワークの大切さを意識するきっかけになったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

水産研究員のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：
漁師として、底引き網漁で新鮮なお魚をとる

【受入事業者】
水産・海洋技術研究所

【開催日】
2022年8月7日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
子ども9名



【研修/実践内容】

- ①水産海洋技術研究所のお仕事について知る
- ②魚（チリモン）の種類について知る
- ③魚の調査（体長測定、解剖、年齢調査） / エサやり

【まとめ作業】

- ・水産研究の役割、重要性
- ・海の生態系の理解
- ・水産への興味

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.0
自走度	3.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、水産・海洋技術研究所の伊豆分場で、ちりめんじゃこの中に入っている小さな生き物たち「チリモン」の選別や魚の大きさ・食べたもの・年齢の調査。胃の内容物を調査する為、魚を解剖等を体験し、漁師さんとの関わりについて学びました。保護者からは「静岡県の海の生き物について知ることのできて、魚を解剖したり専門的な体験ができて良かった。」という感想から、水産研究の役割、重要性と海の生態系を意識するきっかけになったと推察できる。

柿田川湧水の環境を守るお仕事しよう！

お仕事ミッション：
外来種を駆除しミシマバイカモと川の環境を守る

【受入事業者】
清水町生活安全課

【開催日】
2022年8月27日

【開催場所】
静岡県・清水町

【参加人数】
子ども：19名



【研修/実践内容】

- ①外来種の駆除作業

【体験を通して伝えたいこと】

- ・環境保全活動の意識づけ
- 「水」について考えるキッカケ

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、日本名水百選にも選ばれる柿田川湧水群の「ミシマバイカモ」の生育・生息を守るため、協力して外来種を駆除しました。実際に柿田川湧水を飲んで柿田川湧水の自然環境と伊豆固有生物、海とのつながりを学びました。保護者からは「自然に興味関心を高めることが出来ました。子どもと一緒に考えることが出来ます。イベント開催していただき、ありがとうございました。」という感想から、自然環境を保全することを意識するきっかけになったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



伊豆急で特別体験！
オリジナルデザインの車両を考えよう！

お仕事ミッション：
伊豆の海の魅力を学び、車両デザインのプランを考える

【受入事業者】

伊豆急行

【開催日】

2022年8月27日

【開催場所】

静岡県・伊東

【参加人数】

子ども10名



【研修/実践内容】

- ①伊豆の海の基礎知識を学ぶ
- ②車両プランに関するプレゼンテーション

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海 / 伊豆の魅力を知る
- ・観光 / サービス業のサービスの作り方

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	3.5
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、座学で火山からできた伊豆半島と伊豆半島の海の自然と伊豆急行の車両に関して学び、子どもたち自身で考えた車両デザインを作成しました。個性的なデザインがそれぞれ仕上がり、伊豆急行のスタッフの方も採用を考えるほどでした。参加した子どもたちは、「伊豆半島の様々な自然を知って学べて、伊豆急の社員さんが乗客の皆さんを楽しませながら、安全に輸送するための苦労と仕事の大変さを学びました。」など鉄道の仕事の大変さと伊豆の自然、海、ビーチなど観光地へに輸送など生活とのつながりを意識するきっかけになったと推察できる。

海で人や荷物を安全に運ぶお仕事をしよう！

お仕事ミッション：
船を安全に運航するお手伝いをする

【受入事業者】

富士急マリリゾート

【開催日】

2022年8月28日

【開催場所】

静岡県・熱海

【参加人数】

子ども9名



【研修/実践内容】

- ①スタッフ研修（運航の基礎知識学習）
- ②チケット回収・船内案内
- ③ロープワーク

【体験を通して伝えたいこと】

- ・船の安全運航
- ・海の魅力を学ぶ

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	3.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、運行の基礎知識とロープワークを学び、船内を見学。港に出て着港したお客様をお迎えし、出航準備をしました。乗船チケット回収し、初島へ出航。航行中には船内アナウンスを体験しました。船を安全に運行するために様々な努力をしていることを学びました。参加した子どもたちからは「ロープの知識、船の部品を知ることができ、操舵室で操船をまじかで見学でき勉強になった。波の力で船がものすごく揺れてびっくりした。」という感想から、海の自然の力と船を安全に運行することの重要性を意識するきっかけになったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



わかめ漁師のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

養殖のわかめの収穫・加工体験を行い出荷する

【受入事業者】

小坪漁業協同組合

【開催日】

2023年4月1日

※当初3月12日開催が天候により延期

【開催場所】

神奈川県・逗子市

【参加人数】

子ども3名



【研修/実践内容】

- ・ワカメ養殖、道具の説明
- ・海上でのワカメ収穫
- ・めかぶ切り、干し作業、梱包

【体験を通して伝えたいこと】

- ・魚食文化/漁法からの学び
- ・海洋資源についての学び

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	3.5
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

小坪漁港では、魚を獲る仕事のほかに、漁獲量のへる冬季には“わかめ”の養殖と収穫を行っている。逗子市のスーパーやわかめを市民に配るお祭りなど、逗子市にとって生活に根付いた特産品。また、いつもの食卓では乾燥わかめしか知らない子供たちが、実際に海の中に養殖されているわかめを見るだけで感動の声があがり、さらに収穫する大変さを実体験。また、陸上に上がった後も、めかぶとの切り分けや1枚1枚ほしていく作業などを通して、当たり前にならぶわかめのありがたみを噛みしめていた。

ひがたの貝がらで水鳥の休み場所をつくろう

お仕事ミッション：

谷津干潟が抱える環境問題を知り、ひがたの環境を守る

【受入事業者】

谷津干潟観察センター

【開催日】

2021年8月28日

【開催場所】

千葉県・習志野

【参加人数】

子ども5名



【研修/実践内容】

- ①谷津干潟の環境問題の調査
- ②外来種ホンビノス貝増加による干潟の生態系の影響と課題と対処方法を学ぶ

【体験を通して伝えたいこと】

- ・谷津干潟の環境問題への気付き
- ・ホンビノスガイの増加やゴミ問題が生態系に及ぼす影響と取り組み

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	3.5
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは谷津干潟で生き物を採取した後、干潟が抱える外来種ホンビノスガイや、ゴミ問題が生態系に及ぼす影響など学び、ホンビノスガイの駆除作業を体験しました。こどもたちからは「少し地面を掘っただけでホンビノス貝がいっぱいた。」との声。保護者からは「東京湾の漁師にとってホンビノス貝は収入源として重要と聞いていたが、干潟にとって厄介者だということがわかった。子どもたちが外来種の環境問題を考えるきっかけになりました。」など、外来種の生態系への影響や環境問題を考えるきっかけになったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要 (半自走 実施イベント：全7種/9回開催)

定置網漁師のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：
新鮮な魚を出荷し届ける

【受入事業者】
網代漁業

【開催日】
2022年7月24日

【開催場所】
静岡県・熱海

【参加人数】
子ども20名



【研修/実践内容】

- ①ロープワーク・定置網漁の仕掛けを海に出て船上見学
- ②生け簀から朝とれた魚をピックアップ
- ③生きたままの魚を生き締め・魚を梱包してお店へ出荷する

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海洋資源 / 従事者の学び
- ・海の恵みへの感謝
- ・魚食文化 / 漁法からの学び

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、網代で定置網漁師さんと定置網漁を学び、魚の選別、生き締め、出荷作業と店頭で並ぶまでの重要な作業を体験しました。新鮮な魚を出荷し、店頭で並ぶまでの作業の多さと大変さが身をもって学びました。保護者からは「生き締め体験など、魚を出荷するまでの流れが実際に見られて良かった。漁師のしごとが少し理解できたのではないかと。定置網漁はお金がかかる大変な業種だと思った。」という感想から漁師さんたちへ感謝と海洋資源、海と生活のつながりを意識するきっかけになったと推察できる。

海の手配師、石垣幸二さんのお仕事
@静岡県

お仕事ミッション：
海の生き物を安全にお客様に届ける

【受入事業者】
ブルーコーナー

【開催日】
2022年7月30日

【開催場所】
静岡県・沼津

【参加人数】
子ども：10名



【研修/実践内容】

- ①生態学習
- ②配送準備
- ③生物のトリセツ作成 / 提案

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の生態系の学び
- ・情報/魅力の伝え方
- ・「好き」を仕事にしてみよう

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、世界中の海から生き物を捕獲し、世界中の水族館や店に手配し、届ける「海の手配師」について説明を受け、生き物に関するたくさんの知識、捕獲するためのネットワーク、展示するためのアイデアを持つ必要があることを学び、生き物を届ける為、海水と酸素を入れるパッキング作業を体験しました。保護者からは「きれいな魚を見たりできる裏側には、たくさんの過程があることを学びました。同時に地球温暖化についても考えさせられました。」という感想から、海の生態系と海洋環境保全の重要性を意識するきっかけになったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

サンゴ保全のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：
サンゴや海の環境・海の不思議を知る

【受入事業者】
平沢マリンセンター

【開催日】
2022年8月20日

【開催場所】
静岡県・西伊豆

【参加人数】
子ども8名



【研修/実践内容】

- ①サンゴの生態学習
- ②海洋学習
- ③サンゴの植樹

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海・サンゴの環境保全
- ・環境保全への小さなチャレンジ

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、平沢マリンセンターのお仕事・サンゴについてお話を聞いた後、沖までシュノーケリング。サンゴ群集を観察し、サンゴの植樹を体験。サンゴを保全することで海の環境を守ることを学びました。保護者からは「サンゴを植樹することにとどまらず、サンゴの役割や海の環境を更に良くしてゆく為にもっと考える機会となったと思います。」という感想から、海・サンゴの生態系と海洋環境保全の重要性を意識するきっかけになったと推察できる。

深海漁師のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：
謎が多い深海魚について知る

【受入事業者】
長兼丸

【開催日】
2022年10月8日
2022年11月5日

【開催場所】
静岡県・焼津

【参加人数】
子ども：11名



【研修/実践内容】

- ①深海生物・漁法の学び
- ②深海魚深海魚 / オオグソクムシ魚
- ③深海魚の仕分け / 仕掛けの片付け

【体験を通して伝えたいこと】

- ・深海への興味 / 漁法からの学び
- ・海洋資源/従事者の学び
- ・海の恵みへの感謝

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

駿河湾では、アオザメやカグラザメ、ミルクガニ、オオグソクムシ等の深海魚をとることができ、生物ごとの適した漁法を教えてもらいました。子どもたちは、漁に出て、オオグソクムシ、アイザメ等、獲れた生物の仕分け、梱包作業を体験。保護者からは、「体験を通じて、食卓にのぼる魚たちをもっと大切に感謝して食べるきっかけになった。」「船の上で「漁師さんの仕事って大変だね」と言っていました。漁師さんへの感謝を忘れないようにします。」など漁師さんへの感謝と駿河湾の環境理解や海洋生物への理解を深める機会に繋がったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



漁師のお仕事をしよう！ @神奈川県

お仕事ミッション：

"刺し網漁" で獲れた魚の荷揚げや仕分けし出荷する

【受入事業者】

小坪漁協

【開催日】

2022年10月9日

2022年10月30日

【開催場所】

神奈川県・逗子

【参加人数】

子ども18名



【研修/実践内容】

- ①刺し網漁法の研修
- ②実際の漁師船に乗船
- ③荷揚げの手伝い / 魚の選別

【体験を通して伝えたいこと】

- ・刺し網漁法の学び
- ・小坪で獲れる魚の特徴など
- ・魚食文化への感謝

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

小坪漁港は磯焼け問題など、年々漁獲量が減っている。漁師から海の栄養は山から川を經由して海に届くことを講義にて学び、山の大切さを改めて知りました。刺し網漁から獲れた魚の梱包作業までを体験し、魚が食卓に並ぶまでの流れを実感。参加した子どもたちは、「海の状態によって漁師さんの収入が変わるので大変だと思った。」「お家で魚をさばく手伝いをしたいです。」など漁師の仕事の大変さと海と生活のつながりを意識するきっかけになったと推察できる。

テトラポッドで私たちの生活を守るお仕事@茨城県

お仕事ミッション：

研究所で波の知識を学び、実験する

【受入事業者】

不動テトラ

【開催日】

2022年10月22日

【開催場所】

茨城県・土浦

【参加人数】

子ども：4名



【研修/実践内容】

- ①海の世界学習
- ②テトラポッドの消波実験
- ③ミニチュアテトラポッド制作

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の世界学習
- ・研究職への関心（職種紹介）

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	3.5
子どもの熱中度	4.0

海の災害から私たちの生活を守るテトラポッド。普段入ることのできない研究所で研究員の方から海の世界の講義や消波実験など体験し、学びました。参加児童からは「テトラポッドをいくつも積み重ねると、自然災害から人を守れることに驚きました。」とのこと。保護者からは「『算数や理科、どんな習った分野も研究に役立つ』との研究員の方のお言葉。子供に響いているといいなとおもいながら聞きました。」研究者の考え方とテトラポッドの関心を持つ機会を提供することができた。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要 (自走 実施イベント：全5種/6回開催)

漁師のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

漁師として、「一艘引き漁」で新鮮なお魚をとる

【受入事業者】

大洗漁協

【開催日】

2022年7月2日

2022年9月17日

【開催場所】

茨城県・大洗

【参加人数】

子ども20名



【研修/実践内容】

- ①一艘引き漁の網の引き上げ作業
- ②魚の特徴説明
- ③漁業/魚食文化への課題確認

【体験を通して伝えたいこと】

- ・魚食文化 / 漁法からの学び
- ・海洋資源 / 従事者の学び
- ・海の食文化への感謝

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

全国でも珍しい「一艘引き漁」。漁に使う網の特徴や魚の追い込み方、大洗の海洋環境について学びます。船に乗ったら漁に出発。網を引くとシラスやクロダイなどが大漁。参加した児童からは「船が揺れてビックリしたけど、魚が大漁で嬉しかった。」保護者からは「たくさんの海の生物に出会え、親子ともども楽しくて貴重な経験が出来ました。食べている魚がどこから届いているかなど、魚に対して興味が増えました。」という感想から、珍しい「一艘引き漁」の漁法と海の食文化への関心を持つきっかけになったと推察できる。

佐渡漁師のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

佐渡島で半農半漁の離島暮らしを体感する

【受入事業者】

虫先集落/UKUU

【開催日】

2022年7月22日

【開催場所】

新潟県・佐渡

【参加人数】

子ども：2名



【研修/実践内容】

- ①漁体験（仕掛け準備・回収・魚の選別等）
- ②魚の捌き体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の恵みへの感謝
- ・水産の基本的な流通構造
- ・魚食文化の学び
- ・海洋資源 / 従事者の学び

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

海・山・川の地域資源が豊かな佐渡島で半農半漁生活を行う離島漁師のお仕事を体験。子どもたちは、漁に出て定置網を仕掛け、獲れた魚を出荷するまでを体験し、魚を捌き食べました。参加した子どもたちからは、「漁師さんたち全員が気持ちを1つにしないと漁は成り立たないことを知りました。」との声。保護者からは「佐渡の漁法と、佐渡の生活にもふれられ良い学びになりました。すばらしいイベントなので、多くの子どもたちに参加してもらいたいです。」など豊かな自然と、海とともに暮らす佐渡島の魅力に気付くことができたことと推察できる。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



イルカ飼育員のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

水族館の飼育員さんになって、イルカを元気にする

【受入事業者】
下田海中水族館

【開催日】
2022年7月23日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
子ども5名



【研修/実践内容】

- ①生態学習 / 調餌 / 給餌
- ②トレーニング:イルカショーの演技指導の見学、実践、サインのしくみ、サインのコツと練習など

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の生態系の学び
- ・環境問題の自分ゴト化

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

イルカ飼育員として、イルカの生態についてと、エサづくり、イルカのサインの出し方などを学び、イルカに傷などないか健康確認の実践とショーの予行演習を体験。子どもたちは、イルカ飼育員さんのお仕事の大変さを実感しました。実際にイルカに触れ体験することで「イルカ飼育員の仕事」を考える機会となり、海と私たちとのつながりや、海や川の生き物たちを考えるきっかけになりました。

深海水槽をPRするお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

深海魚を見て触れて知ってPRする

【受入事業者】
下田海中水族館

【開催日】
2022年8月20日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
子ども：4名



【研修/実践内容】

- ①生態学習
- ②給餌体験
- ③生物の紹介表示板の作成

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の生態系の学び
- ・コミュニケーションの重要性

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

謎が多い生き物深海魚。水族館での展示方法も他の生き物と違って特徴的。飼育をするためには、生き物が普段暮らしている環境を作ることがとても大切。実際に水族館の近くで獲れた魚に触れながら学び、お客様にわかりやすく説明するための案内板を作ります。子どもたちからは「深海は太陽の光が届かないので水深によって水温が低くなっていくことを知りました。」「深海は暗いので魚の目が大きくなったり、魚が工夫して生きていることがわかりました。」など、深海魚飼育の大変さと海の生態系に関心を持つきっかけになったと推察できる。

■各イベントの実施概要

豪華客船クルーのお仕事をしよう！@神戸

お仕事ミッション：

客船クルーとしてお客様に、安全・快適なクルーズ体験を届ける。

【受入事業者】
株式会社神戸クルーザー

【開催日】
2022年8月13日

【開催場所】
兵庫県・神戸市

【参加人数】
子ども9名



【研修/実践内容】

- ①出航前点検/お出迎え業務
- ②操舵室内点検・見張り業務
- ③船内巡視業務
- ④機関室・エンジンルーム見学

【体験を通して伝えたいこと】

・船の安全な航行、お客様の快適なクルーズのためには、様々な点検・監視業務が欠かせないこと。

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	3.5
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

神戸で豪華客船クルーのお仕事を体験。子どもたちは船長の指示のもと、出航前の点検業務、お客様のお出迎え、操舵室にて各種機器の点検や見張り業務、船内巡視業務などを行った。船長も子ども扱いせず、子どもたちも緊張感をもって取り組んでいた様子だった。安全で快適な航行には、クルーの様々な点検や監視業務が不可欠なことを体感し、人命を預かる責任を感じる体験にもなった。

海の安全・安心を支える技術開発のお仕事をしよう！@西宮

お仕事ミッション：魚群探知機、自動運航機器の研究開発に挑戦

【受入事業者】
古野電気株式会社

【開催日】
2022年8月22日

【開催場所】
兵庫県・西宮市

【参加人数】
子ども：4名



【研修/実践内容】

- ①魚群探知機の実証実験
- ②自動運航の技術研修

【体験を通して伝えたいこと】

・海での安全な航行を支える船舶用電子機器があり、そのおかげで私たちの生活が支えられていること
・魚群探知機やレーダーの技術と役割への理解を通して、海への関心を深めてもらう

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	3.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

魚群探知機メーカー古野電気で、海洋ごみ問題を見つけられる魚群探知機の研究開発体験を行った。まず魚群探知機の仕組みを学び、研究用の水槽でペットボトルが魚群探知機にどう映るのか？を実証実験した。また未来の技術、自動運航についても学び、シミュレーターにて、タンカーの操船体験も行った。体験を通じて、船の安全な航行は各種レーダー等、船舶機器が支えており、こういった製品・技術にも興味をもってもらえたと思う。また海洋ごみ問題を知るきっかけにもなったと思う。

人々の暮らしを支える港の
お仕事をしよう！@神戸市

お仕事ミッション：輸入青果の入出荷手続きと高度な
品質管理に挑戦。

【受入事業者】
株式会社上組

【開催日】
2022年8月24日

【開催場所】
兵庫県・神戸市

【参加人数】
子ども：5名



【研修/実践内容】

- ①物流について学ぶ
- ②品質管理業務
- ③在庫数管理業務

【体験を通して伝えたいこと】

- ・スーパーに当たり前のように果物が並んでいることに対する感謝
- ・海運だからこそ運べるものがあり、海によって生活が支えられていること

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.5
地域性	3.5
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

神戸港開港時から輸出入を支える上組で輸入青果の倉庫内作業を体験した。まず物流について学び、その後低温に保たれた巨大な青果倉庫に入り、倉庫内の温度チェック、バナナ・キウイの果肉温度や糖度を計測し、品質管理業務を行った。船からコンテナがおろされている様子も見学し、海外から来た食材がスーパーに並び、食卓に届けられるまでを体感できた。私たちが様々な食材・料理を楽しむのも、船から食材を受け取り、厳しい品質管理をしている港のお仕事があってこそだということを実感できたと思われる。

■各イベントの実施概要

キッズチャレンジ！キララ多伎・海辺の朝市で特産品を販売

お仕事ミッション：

島根県のアナゴなど特産品や漁業の課題を学ぶ。商品の陳列、本日のおすすめポップを作り接客して販売する。

【受入事業者】
株式会社多伎振興

【開催日】
2022年9月18日

【開催場所】
島根県・出雲市多伎町道の駅キララ多伎

【参加人数】
子ども2名



【研修/実践内容】

- ①漁獲高全国トップクラスのアナゴなど島根の漁業や課題について学ぶ
- ②アナゴの特産品化の取り組みなどを学びアナゴ弁当を販売
- ③海辺の朝市でポップを作り、接客して販売体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・島根には全国に誇れる海産物がある
- ・海辺の朝市ならではの活気やすがすがしさで仕事の楽しさを実感。
- ・アナゴや漁業の特徴を学び海への感謝の気持ちを持ってもらいたい。

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	3.5
子どもの熱中度	4.0

子供たちは、県内では珍しい海に面した道の駅で開かれる海辺の朝市で、アナゴ弁当の販売を体験。販売に先立ち、島根県が直面している漁業の現状や課題、漁師の後継者不足、地球温暖化の影響なのか獲れる魚が変わってきたなどの説明を受けた。大田市が特産品化を進めるアナゴについて説明を受け。「アナゴはウナギのように養殖していないのか」「アナゴはどこに住んでいるのか？」など質問も飛び出した。アナゴ弁当のポップを作り、販売を体験。これらの体験により、地域の海の恵みに感謝し、海を大切にする意識を醸成した。

スーパーみしまやでお魚売場の仕事に挑戦 ～地元の魚が食卓に届くまで～

お仕事ミッション：

市場から仕入れた魚がさばかれて陳列されるまでを学び、おすすめの魚のポップを作り、販売も体験。商品同様のお寿司作りも体験。

【受入事業者】
株式会社みしまや

【開催日】
2022年9月24日

【開催場所】
島根県・松江市下東川津町

【参加人数】
子ども5名



【研修/実践内容】

- ①市場から届いた鮮魚の捌き方を学ぶ
- ②お寿司作り体験
- ③おススメの魚のポップを作り、接客も体験。販売促進に貢献する。

【体験を通して伝えたいこと】

- ・仕入れた魚が店頭で並ぶまでの行程
- ・未利用魚販売の取り組みについて話を聞き、食の大切さを感じる。
- ・新鮮な地魚を間近に見て触れて、海への感謝の気持ちを持つ。

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	5.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、地元で水揚げされた魚がどのような流れで食卓まで届くのかを学んだ。さばかれていく魚を見た子どもたちから「綺麗な切り方を見ることが出来てよかった」「魚のアラの調理方法を聞いて為になった」などの声が上がった。さばかれた魚を使って寿司づくりを体験。また、おススメの魚のポップを作り販売に挑戦した。これらの体験から、当たり前のように並んでいる魚や商品には、多くの人が関わっていることを知るとともに、海への感謝や、綺麗な海を守りたいという意識を醸成した。

料理旅館で地元の鮮魚を使った鮮魚盛り& 焼きガニ作りを体験！！

お仕事ミッション：

地元の魚について学び、プロのさばき方の技術を見学。鮮魚盛りに挑戦。高級品のズワイガニと紅ズワイガニの違いを学ぶ。焼きガニ作りを体験。

【受入事業者】
皆生温泉 松涛園

【開催日】
2023年1月22日

【開催場所】
鳥取県・米子市皆生温泉

【参加人数】
子ども5名



【研修/実践内容】

- ①料理人による魚さばきの技術を見学し、鮮魚盛りに挑戦。
- ②地元の魚や、ズワイガニ・紅ズワイガニの違いを学ぶ
- ③焼きガニ作りを体験。カニの調理法による味の違いを知る。

【体験を通して伝えたいこと】

- ・山陰の冬の鮮魚や、ズワイガニの料理体験をすることで、地元の特産品に自信を持ち、海への感謝の気持ちを感じてもらう
- ・新鮮な海産物を目当てに観光客が訪れる旅館の技と味を体感

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、観光客が多く訪れる海の近くの旅館で、料理人による魚をさばく技術を見学し、鮮魚盛りの盛付けに挑戦した。山陰の冬の味覚の代表格・ズワイガニと、主に加工品として使用される紅ズワイガニの違いについて学び、ズワイガニの焼きガニ作りを体験した。子どもたちからは「プロのさばき方はきれい」「ズワイガニと紅ズワイガニの違いがわかってよかった」「鮮魚盛りは簡単かと思ったが難しかった」「お客様の為にカニを食べやすく切るのはすごい」などの感想が聞かれた。温暖化によって漁獲量が減少していることも知り、美味しい魚を守るため綺麗な海を大事にしたいという意見が多く聞かれた。

■各イベントの実施概要

カニが主役の水族館でお仕事しよう！@鳥取県

【受入事業者】
とっとり賀露かにっこ館

【開催日】
2022年9月23日

【開催場所】
鳥取県・鳥取市

【参加人数】
子ども5名



お仕事ミッション：

飼育員として、水槽の清掃やエサ作り、エサやりする



【研修/実践内容】

- ①カニや様々な魚について学ぶ
- ②水槽の清掃、エサ作り、エサやり
- ③カニや魚の健康状態や水質チェック、観察業務

【体験を通して伝えたいこと】

- ・飼育員の仕事の大変さを知り、カニや魚の大切さを感じる

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	3.5
地域性	4.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

カニが主役の水族館での飼育員の業務を体験。子どもたちは、海の生き物を育てることの大変さを実感しました。水槽の清掃作業では、カニや魚が生きやすい環境にするには何をしないといけないかを考え、清掃を行った。エサを作るところから体験して、エサやりをすることでカニの特性や嗜好、健康状態のチェックなどを学びました。職業体験を通して、海の生き物にふれ合い、保護者からは「カニや魚をもっと知りたい」等の声を頂き、海の生き物を深掘りするきっかけになったと推察できる。

ちくわのまち鳥取でちくわマスターになろう！

【受入事業者】
とうふちくわの里ちむら

【開催日】
2023年1月9日

【開催場所】
鳥取県・鳥取市

【参加人数】
子ども8名



お仕事ミッション：

魚を原料としたちくわの歴史や作り方を学ぼう

【研修/実践内容】

- ①ちくわ作りの歴史や工場を学ぶ
- ②実際にちくわ作りの工程を学び、作る

【体験を通して伝えたいこと】

- ・地域で親しまれている「ちくわ」の歴史や作り方を学び、海とのつながりや食文化を理解する

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	3.5
地域性	4.5
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、地域で親しまれている「ちくわ」にどのような歴史や背景があったか？またどんな工程で作られてきたか？を学んだ。また、現在は機械作業が多いが手作業でのちくわ作りの難しさや職人の大変さを感じた。職業体験を通して子どもたちからは「ちくわに魚が入っていると知った。」「魚は贅沢でとうふを混ぜて作られている。」という感想から、地域と海のとつながりや人々が工夫してきた歴史を意識するきっかけになったと推察できる。

地元のスーパー（エスマート）でお魚売場の仕事にチャレンジ！

お仕事ミッション：

魚売場の販売員として、仕入れから売れる所までの仕事を体験する

【受入事業者】
Sマート吉成店

【開催日】
2023年3月19日（日）

【開催場所】
鳥取県・鳥取市

【参加人数】
子ども：6名



【研修/実践内容】

- ①魚の流通などについて学ぶ
- ②お魚味付け体験
- ③パック、包装、品揃え、陳列、接客などを体験する

【体験を通して伝えたいこと】

- ・お店に、魚たちが並ぶまでの工程。
- ・地元の魚や魚の流通について学ぶ

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.5
自走度	3.5
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

地元スーパーのお魚売り場での流通から加工して店頭にならぶまでを体験した。お店へ運ばれるトラックの荷下ろしから始まり、パックに詰めていく作業やたれ付け、包装、売り場への商品出し、店頭にならんだ商品のポップ作成をして終わりました。とても盛り沢山の内容で、お店スタッフの方々も丁寧に教えて頂き、子供達も夢中で作業に集中していました。商品出した猛者エビがすぐに売り切れてしまいい「動いて触れないくらい、生きが良かったから。」「こんな風に売れて行くんだ〜。」など、色々な感想が聞かれ、魚の大切さ海に繋がる学びを深められたと感じ取れました。

■各イベントの実施概要

学芸員のお仕事体験をしよう！@埼玉県

お仕事ミッション：地層の標本作成&分析 川の生きもの採集&同定作業

【受入事業者】
埼玉県立川の博物館

【開催日】
2022年11月23日（水・祝）

【開催場所】
埼玉県寄居町

【参加人数】
子ども3人
大人3人 計6人



- 【研修/実践内容】
- ①バックヤードツアー（解説を学ぶ）
 - ②雑木林にて、地層の標本作成
 - ③川の生きもの採集&同定作業の体験

- 【体験を通して伝えたいこと】
- ・博物館で働く人の仕事や苦勞、楽しさなどを実感
 - ・川の国・埼玉のかわはく存在意義、啓発活動への理解

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	3.0
子どもの熱中度	5.0

参加した子どもたちは、普段学校の行事などで訪れる博物館がどのような施設なのか、さらにはどのようなものが貯蔵されているのかを知ることができたほか、博物館で働く学芸員の仕事を具体的に知り、一部の研究内容を体験することができた。上記の体験を通じて、川の国・埼玉が誇る博物館の存在意義や、そこで働く人々の仕事の苦勞や楽しさを学べたと考える。

実験に挑戦！埼玉の環境博士になろう♪@埼玉県

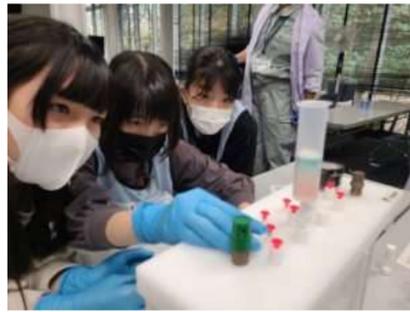
お仕事ミッション： 人々が安心して暮らせるように川の水質検査を行う

【受入事業者】
埼玉県環境科学国際センター

【開催日】
2022年12月3日（土）

【開催場所】
埼玉県・加須市

【参加人数】
子ども：10名



- 【研修/実践内容】
- ①生きもの環境調査（指標生物を学ぶ）
 - ②水質調査（実験器具に触れる）
 - ③最新の研究『環境DNA調査』を学ぶ

- 【体験を通して伝えたいこと】
- ・研究員の仕事や苦勞、楽しさなどを実感
 - ・自然環境を研究するセンターの存在意義、啓発活動の理解

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	3.0
自走度	4.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

埼玉県環境について多方面から調査する研究員が集う「埼玉県環境科学国際センター」で実際に実験を行ったり、研究員が独自に開発したカードゲームなどを通じて、参加した子どもたちは楽しみながら研究員の仕事に触れることができた。さらには、最新の研究技術を体験したり、使用する機材や白衣を着用し、イメージを具体化させ、職業選びの選択肢の1つになるきっかけを作ることができたと思う。

魚屋さんのお仕事を体験！
sakanabaccaで働いてみよう

お仕事ミッション：魚さばき体験
しらすのパック詰め&ポップ作成

【受入事業者】
sakanabacca豪徳寺

【開催日】
2023年2月25日（土）

【開催場所】
東京都世田谷区

【参加人数】
子ども6人



【研修/実践内容】

- ①アジの3枚おろし体験
- ②しらす&ちりめんじゃこのパック詰め作業
- ③商品ポップ研修&作成

【体験を通して伝えたいこと】

- ・魚屋さんで働く人たちの苦勞・喜びを学ぶ
- ・地域に根付いた魚屋さん（路面店）存在意義、啓発活動への理解

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	5.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

参加した子どもたちは、スーパー以外の地域に根付いた路面店の魚屋さんで実施に働く体験をすることにより、お客さんの顔や反応を直接見る事ができたほか、魚屋さんの仕事内容を具体的に知り、一部の仕事内容を体験することができた。上記の体験を通じて、都内の魚屋さんの存在意義や、そこで働く人々の仕事の苦勞や楽しさを学べたと思う。

■各イベントの実施概要

煮干しいりこ生産量日本一の長崎県・
天洋丸で漁師体験をしよう！@長崎県

お仕事ミッション：
漁獲されたカタクチイワシの選別をし、商品にしよう！

【受入事業者】
株式会社天洋丸

【開催日】
2022年11月26日

【開催場所】
長崎県・雲仙市

【参加人数】
親子3組 6名



【研修/実践内容】

- ① 橋湾で獲れる魚種、漁法、漁船について学ぶ
- ② カタクチイワシの選別方法を学び、商品になるまでを学ぶ
- ③ 養殖サバへ餌やり
(餌は商品にならないカタクチイワシを使用しており、SDGsについても学ぶ)
- ③ 煮干し出しの味比べ

【体験を通して伝えたいこと】

・漁をしてから商品になるまでに、多くの手間がかかっていることを知り、当たり前には食べられることに感謝する。

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

長崎県・雲仙市で漁師のお仕事を体験。実際に漁に出るのは真夜中になるため、獲れた大量のカタクチイワシを目の前に、選別方法や商品になるまでの業務を学び、手間ひまかけて一つの商品になっていることを実感していた。特に選別作業では、カタクチイワシ以外にも10種類以上の魚が混じっており、魚種ごとに選別する作業に大人も子供も夢中になって作業をしていた。また、商品にならないカタクチイワシを、養殖しているサバの餌として利用しており、漁師がSDGsの取組を行っていることにも驚いた参加者だった。

海きららでイルカトレーナーのお仕事
をしよう！@長崎県

お仕事ミッション：イルカトレーナーとして
イルカとコミュニケーションをとろう！

【受入事業者】
九十九島水族館海きらら
(させばパール・シー株式会社)

【開催日】
2023年1月22日

【開催場所】
長崎県・佐世保市

【参加人数】
子ども4名



【研修/実践内容】

- ① 水族館スタッフの1日について学ぶ
- ② イルカの生態や給餌について学ぶ
- ③ イルカトレーニングについて学ぶ
- ④ うみプラプロジェクトについて学ぶ

【体験を通して伝えたいこと】

・観客を楽しませるために、トレーニングを欠かさずイルカと信頼関係を築く大切さを知る
・“海プラプロジェクト”を通し、海の環境問題を考える

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

長崎県・佐世保市でイルカトレーナーのお仕事を体験。イルカトレーナーのお仕事では、実際に餌の準備から行い、コミュニケーションをとり、イルカとの信頼関係を築くことを頑張っていた子供たち。サインにしっかりと応えてくれて、緊張していた参加者にも笑顔があふれた。また、海きららでは海洋プラスチックのごみを商品にする取組“海プラプロジェクト”を行っている。海を守る取り組みに、子どもたちも興味を持っていた。「こらからはゴミが落ちていたら積極的に拾いたい」と、子どもたちにも気持ちの変化が見られた。

蒲鉾屋店舗数全国1位の長崎県のしきしま蒲鉾で「蒲鉾職人」になろう！ @長崎県

お仕事ミッション：美味しくてオリジナルの蒲鉾を作って「蒲鉾職人」になろう！

【受入事業者】
有限会社シキシマ

【開催日】
2023年3月11日(土)

【開催場所】
長崎県・南島原市

【参加人数】
子ども：5名



【研修/実践内容】

- ①蒲鉾屋のお仕事について
- ②工場見学
- ③商品の梱包作業（ラベル貼り）
- ④蒲鉾づくり

【体験を通して伝えたいこと】

- ・蒲鉾づくりに興味や関心を持ってもらう。
- ・蒲鉾ができる行程を学び、美味しい蒲鉾を食べれることへの有難さを感じてもらう。

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	3.5
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

長崎県・南島原市で「蒲鉾職人」のお仕事体験。蒲鉾屋の1日のお仕事や、工場がどのように稼働しているのかを動画を見ながら学んだ。実際に販売する商品にラベルを貼る作業を行い夢中になって取り組んでいた。蒲鉾づくりでは、“焼きちくわ”、“揚げかまぼこ”、“魚そうめん”の3種類に挑戦。本来は機械でできる作業を昔ながらの製法で作る、子どもたちは四苦八苦しながらも、個性あふれるかまぼこを作っていた。できたて、揚げたてのかまぼこを試食し、驚きの美味しさに感動していた。工場が深夜2時から稼働することに驚いた参加者たちは、当たり前で蒲鉾を食べるまでに多くの人や手間がかかっていることを知り、食への感謝と更に蒲鉾が大好きになったようだ。

■各イベントの実施概要

とうふ作りを通して海の大切さを学ぼう
@長野県

お仕事ミッション：
とうふづくりを通して、海の恵み「にがり」のパワーを学ぶ

【受入事業者】
八光食品工業

【開催日】
2022年10月23日

【開催場所】
長野県・長野市

【参加人数】
子ども3名 大人2名



【研修/実践内容】

- ①大豆・にがり・水 で作られるとうふ作りの工程を学ぶ
- ②にがりの作り方・にがりの特長について理解を深める
- ②実際にとうふづくりを体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・身近な食材にも海の恵みが含まれていることを学ぶ
- ・良質なにがりは海の環境を守っていくことで得られることを学ぶ

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	4.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

とうふという身近な食材づくりを通して海の恵みの大切さを学んだ。とうふが「大豆」「にがり」「水」で作られる、という点で大きな驚きがあり、子供たちの興味関心が一気に高まった。実際のとうふづくりでは、豆乳ににがりを入れて凝固するまでの工程を体験。液体がだんだんと凝固していく場面では、にがりのパワーを存分に感じる事が出来、にがりの果たす大きな役割を学ぶことが出来た。講師から「良質なにがりはきれいな海から生み出される」という話があり、おいしいとうふを食べ続けるには海の環境を守ることが大事であるとの理解が生まれた。身近な食材と海の関わりを学ぶことで、海ごころを自然に根付かせることが出来た。

お魚屋さん体験を通して海の大切さを学ぼう！
@長野県

お仕事ミッション：スーパーの魚の仕入れ体験を通して、海なし県長野にお魚が来る行程を学ぶ

【受入事業者】
長野県A・コープ

【開催日】
2022年11月5日

【開催場所】
長野県・長野市

【参加人数】
子ども5名



【研修/実践内容】

- ①スーパーの魚仕入れ方法を学ぶ
- ②バックヤードで お魚到着～店頭へ並ぶまでを体験
- ③店頭で販売体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・日本の近海では様々な魚がとれる
- ・長野県で新鮮な魚が流通する過程には多くの方の努力がある
- ・店舗には魚の鮮度を保つ様々な工夫が詰まっている

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	3.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.5

身近なスーパーを舞台に、新鮮な魚がどんなルートを通ってお店に並ぶのかを学んだ。座学で流通経路を学ぶだけでなく、実際に仕入れたばかりの魚を直に触って水槽に運んだり、生きている魚をさばく場面を見学し、店舗に並ぶまでのお店の作業も体験。バックヤード体験後には、仕入れたばかりの魚の魅力を自分の言葉でフリップにまとめて店頭へ。お客さんへのセールスも体験し、より海の幸への敬意と、魚の流通経路についての理解を深めることが出来た。子供たちからは、「日本は周りが海なので、様々な魚が食べられる」「海から店舗まで運ばれてくる行程が短くてびっくりした」といった声が聞かれ、生活と海とのつながりについて知識を深めることが出来た。

水族館の飼育員さん体験を通して 海の大切さを学ぼう！@長野県

お仕事ミッション：

水族館の研究施設としての部分を体験し、海の大切さ・偉大さを学ぶ

【受入事業者】
上越市立水族博物館
うみがたり

【開催日】
2022年11月12日

【開催場所】
新潟県上越市

【参加人数】
子ども3名



【研修/実践内容】

- ①水族館を飼育員さん目線で見学し、展示のコンセプトを学ぶ
- ②飼育員さんの3つの仕事
調餌(ちょうじ)、掃除(そうじ)、給仕(きゅうじ) を体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・水族館が、【研究】【保全】といった役割を担っていること
- ・海には多様な生き物が存在し、それぞれ多様な生態を持っていること

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	3.5
地域性	3.0
自走度	4.5
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.5

普段はレジャー施設としての印象が強い水族館。この日は普段見慣れた生き物についての生態も飼育員さんの目線で説明してもらい、海への興味関心がより高まった。バックヤードでは、海の生き物への調餌(ちょうじ)、掃除(そうじ)、給仕(きゅうじ) を体験。特に給仕の際には動物たちの健康状態をチェックすることが大切と聞き、熱心に食事の様子を観察した。体験を通して、海の生き物が多くの餌を必要とすること、その供給をになう海の偉大さについて、大きな学びが得られた。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

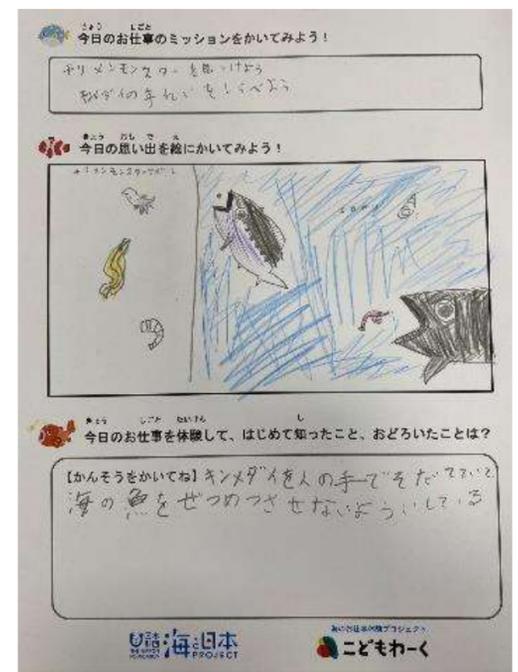
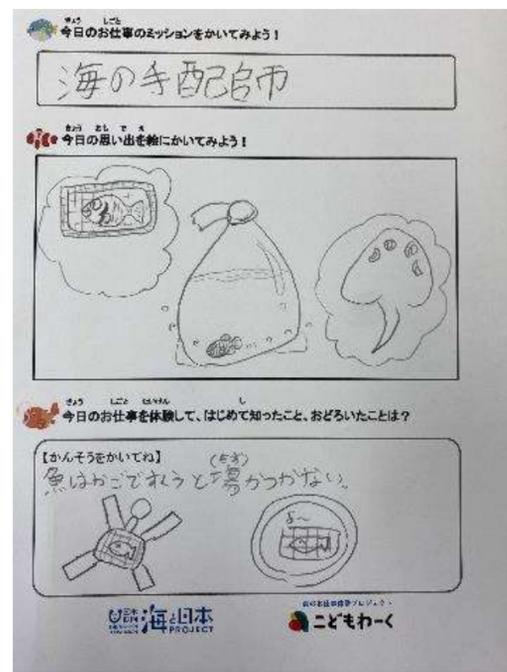
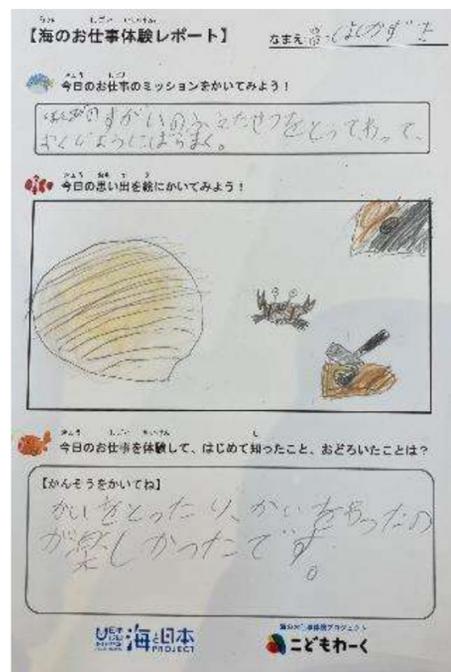
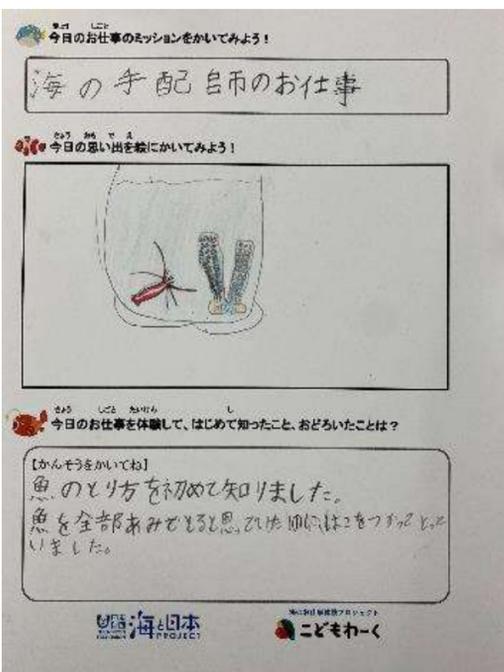
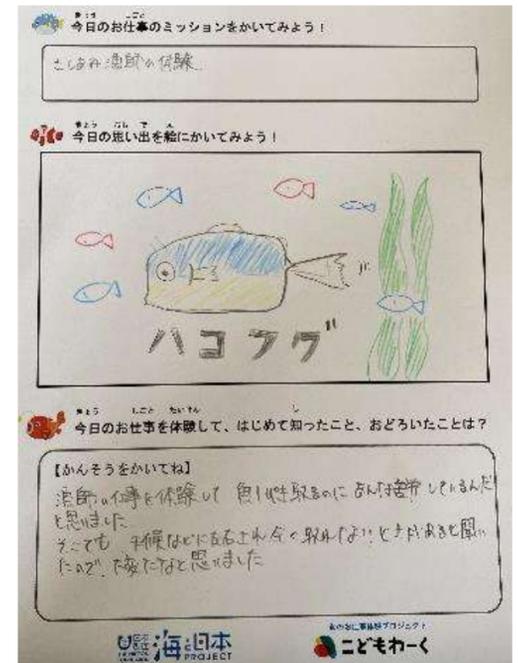
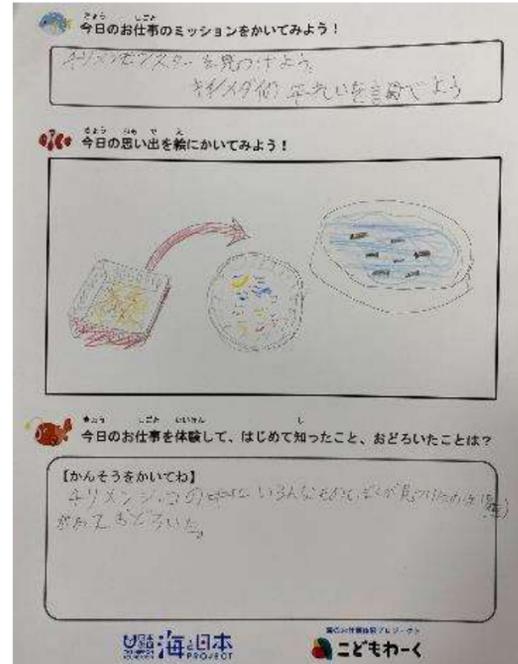
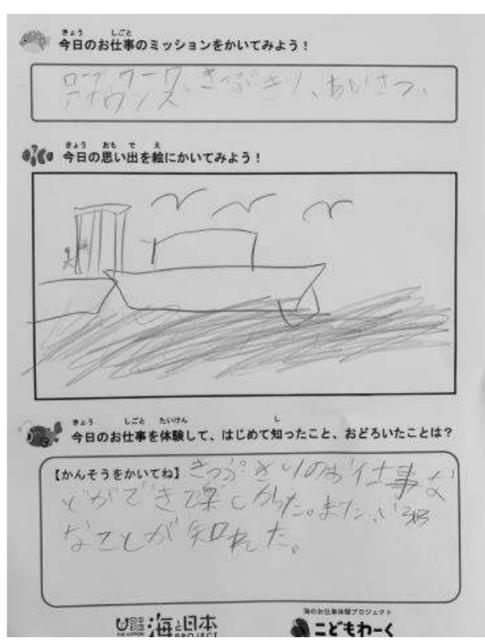
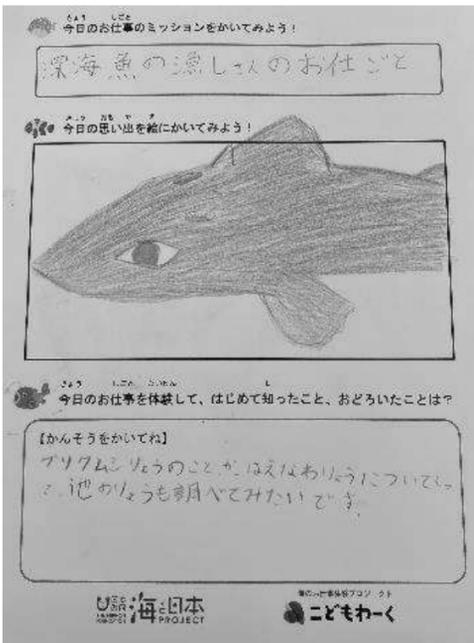
■ イベント総括補足資料 (子どもたちのアウトプット (日報) ※一部)

子どもたちがお仕事の最後に日報を作成 (お仕事の振り返り)



子どもたちのアウトプット (日報) ※各お仕事毎に専用のフォーマットを用意

お仕事の大切な学びを
絵と共に振り返る。



■ 有識者からの評価の声

8/6(土) 幼魚水族館のお仕事をしよう！アンバサダー 鈴木香里武さん

Q. 「8/6 幼魚水族館のお仕事をしよう！」を実施後の感想・気づきについて

小さな小さな幼魚たち。そこに秘められた魅力を伝えるためには工夫が必要です。水族館展示は生き物の魅力任せではおもしろくない。人の想いが加わることで、そこにロマンが生まれると思います。自分なりの視点で観察し、解釈し、自分なりの言葉で伝えること。今回のイベントではその過程を体験してもらおうと準備していましたが、いざ始めてみたら、細かいレクチャーは不要でした。考えるきっかけだけ投げかければ、子供たちは自発的に発見と熟成のループを探究していきました。子供たちの感性を通して覗く幼魚世界がどれほど輝いていたことか！ワクワクを提供するはずのこちら側が勉強になる1日でした。



Q. 「海のお仕事体験」自体について・・・

(1) 事業者側として：他事業者「海のお仕事体験」の実施を勧める意義・目的とは？

お仕事体験と聞くと、子供たちに何かを提供するというイメージをもつと思います。しかし実際にやってみると、それは決して一方通行のレクチャーではありません。子供たちから学ぶことが多く、それはきっとその後の事業に活かせるヒントになることでしょう。お仕事体験がもつ教育的意義は双方向のものなのです。

(2) 参加者側として：世の中の家族に「海のお仕事体験」の参加を勧める意義とは？

「海のお仕事」はなかなか身近に感じられないかもしれません。漁師から水族館の飼育員まで、研究機関から海上保安庁まで多岐に渡り、どれも特殊な勉強をした特殊な人たちの世界のように思われがちです。でも実際に体験すると、仕事内容と同時に、そこに携わる人の想いに触れることができます。するとどうでしょう。心の距離がぐんと近づくのです。不思議なものです。

7/31(日) 海の手配師のお仕事をしよう！アンバサダー 石垣幸二さん

Q. 「7/31 海の手配師のお仕事をしよう！」を実施後の感想・気づきについて

普段私が行っている仕事内容を子どもたちにマネさせてみようとは思ってなかった。作業を始めるにあたり、「なぜそのようにするのか？」を個々に考えさせ、とにかくやらせてみた。今の子どもたちは情報を容易に入手し頭でっかちになっていると思っていたから。ところが実際は参加してくれた子供たちは独自のアイデアを積極的に発表しチャレンジする様子が良く見られた。魚を水槽から取り上げるときは一人で追っかけてはいけない。魚を追い込む人と受ける人が力を合わせてやるのが大切だと教えた。うまくできた人、できなかった人は最後までやらせてみた。仕事はいいチーム作りをして臨むことが大切。子どもたちはそれを実感できたと思っている。



Q. 「海のお仕事体験」自体について・・・

(1) 事業者側として：他事業者「海のお仕事体験」の実施を勧める意義・目的とは？

事業者自身、仕事の意義についてはいつも考えていることであろう。何のために？誰のために？現実には業務の遂行に追われその答えを出すのは後回しになることが多い。純真な子どもたちに仕事をしていくことの大切さを教えるのだが、実は子どもたちから気づかされることが多いのだ。事業の継承に悩む事業者にもオススメしたい。

(2) 参加者側として：世の中の家族に「海のお仕事体験」の参加を進める意義とは？

一般的なお仕事体験は子どもがお客様状態である印象を持たれることが多い気がする。体験イベント中に親が子どもたちに声かけしたり、イベントの内容に口を出したり。そんな心配は一切ご無用。その仕事一筋〇十年の本物たちが、余計な遠慮をすることなく自分の体験をダイレクトに伝えるのが魅力。親が介入することも認められない。子どもたちは自分で感じ、考え、仲間と協力しながら仕事をすることを学ぶのです。働くとはどういうことかを身をもって感じられる素晴らしい体験イベントです。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

■主催事業者からの評価の声

8/28(日) 海で人や荷物を安全に運ぶお仕事をしよう！



■駿河湾フェリー

ご参加されたお子さんたちも、次々に質問してくれたり、丁寧にメモを取っていたりと、非常に熱心にこちらの話にも耳を傾けて、興味をもってもらったと思います。最後に参加された皆さんにもお話しさせていただきましたが、日本という国にとって海は大切であり、今SDGsなどで再注目されていますが、次世代に海の資源や海自体を残していくことは、本当に重要なことと思っています。そういった意味で、御社や日本財団様の活動は大変有意義であり、非常にありがたいと改めて感謝申し上げます。

7/23(土) 海の安全を守るお仕事を学ぼう！



■下田海上保安部

子供たちの真摯な目つきや巡視船見学時の質問内容には驚くばかりで、柔軟な考え方や発想を逆に学ばせていただくことができ、感謝申し上げます。保護者の方々からも様々な質問を頂き、当庁へ関心を持っていただく一助になったのではないかと感じております。来年度以降、お話があれば状況の許される限りに、ご協力致しますので、ご連絡ください。

8/20(土) 深海水槽をPRするお仕事をしよう！



■下田海中水族館

深海プログラム、ご評価ありがとうございます。来年に向けて若手に案を出させて新たな提案をしてもよいかも。とも考えています。引き続きよろしく願いいたします。

■体験参加者からの評価の声

2022年度 お仕事体験イベントに“7回”ご参加いただいた親子（抜粋）



お仕事体験の感想

- ・表舞台にでている海の仕事だけではなく、“裏側”の仕事内容をしれて良かった
- ・将来、表側の仕事希望していたのに、今では裏側の仕事を熱望している
- ・体験の参加を重ねるごとに“海に関する知識”に自信がつき、人前で発言できるようになった

他のピーター参加者からも・・・

学校では好きなこと（魚や海）が、他の学友と話が合わず、孤立しがちで悩んでいた。しかし、お仕事体験では魚や海好きな仲間が集まり、チームでお仕事ができるので、同じ目線で好きなことを話している。こういう場は親として嬉しい

とイベント現場等でコメントがあった

■体験参加者からの声（一部抜粋）

7/24(日)定置網漁師のお仕事をしよう！ @静岡県網代 の参加者より

【参加した子どもたちの声】

- ・魚を捕ったことが楽しかった。また、ロープワークを学べて良かった。なかなか結べなくて難しかった。
- ・自分が思っていたより漁師さんのお仕事はとても大変だと思いました。家に帰ってロープの結び方の練習をしたいです！！今日体験したことや初めて知ったことを日々の生活に活かしていきたいです。とても楽しかったので、また参加したい。
- ・魚の力がとても強かった。魚を活けた後、思った以上に血が出たことに驚いた。江戸時代から定置網漁があることに驚いた。漁師の仕事は大変と感じました。

【保護者などから寄せられた声】

- ・漁師のしごとが少しでも分かってもらえたのではないかと。定置網漁はお金がかかる大変な業種だと思った。おいしい魚をありがとうございます。
- ・子どもたちがとても楽しそうにしていました。また、何に興味があるか、何が楽しいか明確になって良かったです。
- ・普段なかなかできない体験ができ、子どもが楽しそうだった。また魚を出荷するまでの流れが実際に見られて良かった。
- ・漁師の仕事の流れが理解でき、自分たちの暮らしにつながる職業体験を子どもにさせる事ができたので、とても良かった。
- ・魚をすくうところだけでなく、生き締め体験もできたとし、漁師さんの様子が知れて満足した。また参加したい。



7/23(土) 海の安全を守るお仕事を学ぼう！ の参加者より

【参加した子どもたちの声】

- ・将来、海上保安庁のダイバーになりたいので参加しました。海上保安庁のお仕事内容や船を知ることができて嬉しかった。人を1人助けるために凄く工夫して助けなければならないことを知りました。
- ・海上保安庁がどんな仕事をしているか知ることができて良かった。巡視船に乗れて嬉しかった。1つ1つの質問に丁寧に答えてくれて、優しく教えてくれて、すごく面白かった。

【保護者などから寄せられた声】

- ・実際の生の声が聞けたこと、子どもがなりたいあこがれの職業に体験できたことで、とても生き生きとしていました。
- ・ドラマを観て将来は海上保安官になりたいという娘。どうすれば保安官になれるのかなど、とてもいいお話が聞けました。今回おぼれた方へんお対応を学べたので、次回は自分がおぼれたときの対応を学びたいです。
- ・年に何回かイベント開催していただければ、もっと参加したいです。
- ・夏休みの課題で「職業調査」があり今回参加したが、非常に良かった。
- ・海上保安庁の担当の方の伝えたいという意欲が良くわかった。時間に限りがあったことが残念に思えたほど興味深かった。
- ・子どもたちがペットボトルの救助など真剣に聞いていたのが印象的でした。



■ 体験参加者からの声（一部抜粋）

8/6(土) 幼魚水族館のお仕事をしよう！の参加者より

【参加した子どもたちの声】

・今までどこにも無かった幼魚の水族館で幼魚への餌やりや水合わせなど、体験できて楽しかった。水族館の中のお仕事・作業を知ることができて、とても勉強になりました。これからは家で飼育している魚に役立てて、魚がもっと長生きできるようにしたいです。また参加したいです。

・餌やり、バックヤードでのお仕事や設備など知れて楽しかった。水族館で働く人の大変さも知ることができて良かった。

【保護者などから寄せられた声】

・子どもがすごく楽しそうでした。知らない人の前での発表でドキドキしていましたが、やりきれて成長を感じました。

・チームの発表は良かったと思います。子ども同士で啓発されているようでした。鈴木先生のお話も子どもにもわかりやすく楽しかったようで、とても集中していました。また参加したいです。

・プレゼンのポイント、キャッチフレーズを作るときポイントなどお話していただき、深い学びになったと思います。大好きでいつも見ている魚を他の方にも楽しんで学んでもらうには…？と、普段と違った視点で魚と向き合えて満足したし、また参加したいです。

・大満足でした。また別の魚で展示を考えてみたいと考えているので、また参加させたいです。楽しめました！また参加したいです。ありがとうございました。

・内容盛り沢山で、しかも香里武さんが先生なので満足しないわけがない！！最終プレゼン

・水族館のバックヤードに入り、作業を通して水槽の中で魚がどのように過ごせるか考え、子どもたちが一生懸命になっている姿がとても生き生きしており良かったです。親子でまであり、子どもは緊張したと思うが頑張っていて成長が見られました。また参加したいです。

・充実した内容で良かった。館長の指導、教育、素晴らしかった！さすが！！



■ イベント総括補足資料（子どもたちの感想 ※アンケートより抜粋）

参加した子どもたちから寄せられた声

・とれたてのシラスを生で食べて美味しかったです。魚が大漁で感動して船酔いの心配も忘れませんでした。
(漁師のお仕事をしよう！参加者)

・漁は全員で一つにならないとうまいかない。勝手な行動をすると漁は成り立たない。
(佐渡漁師のお仕事をしよう！参加者)

・険しい崖があって怖さを感じたけど、安全に崖を渡る方法を教えてもらって安全で楽しかった。
(まっぶるのキッズ編集部員になって無人島を紹介しよう！参加者)

・シュノーケリングで泳ぎながら海の中の生物を観察できたのが楽しかった。貝が「カチカチ」と音を出すことに驚きました。サンゴを大切にしていこうと思いました。
(サンゴ保全のお仕事をしよう！参加者)

・外来種を駆除しながら、三島梅花藻を観察できて楽しかった。きれいな川を守りたいと思いました。
(柿田川湧水の環境を守るお仕事をしよう！参加者)

・貸切電車で車内アナウンスできて楽しかった。伊豆にはいろいろな自然があることを知りました。
(伊豆の海にお客さんを運ぶ鉄道会社のお仕事をしよう！参加者)

・いろいろな魚がとれて網から魚をはずすのが楽しかった。家に帰ったら魚を捌くお手伝いをしたい。
(漁師のお仕事をしよう！@神奈川県 参加者)

・テトラポッドをいくつも積み重ねると自然災害から人命を守ることができることに驚きました。
(テトラポッドで私たちの生活を守るお仕事をしよう！参加者)

制作物

■ 基本運営マニュアル

お仕事制作の基本となる基本運営マニュアルをブラッシュ致しました。

海のお仕事プログラムの提供価値

“実際の”実施のポイント

実施イメージ

物語

プログラムのポイント①-⑧

1日プログラムのポイント-サービス業

体験の質を担保する人数と金額を設定

体験の質を担保する人数と金額を設定

初回の開催は5組10名～10組20名あたりが最適

人数が多い場合、説明が行き届かなかったり、事業者側の人出が必要になる為、初回はスタッフ2名～3名程度で運営できる～10組程度が推奨

金額の設定は原価積み上げ方式を軸とするのではなく、体験の内容・質を根拠とした設定を意識する

1組あたり ¥3,500～ ¥5,000 ひもの作り・鮮魚販売等
 ⇒ 陸上・お店でコンパクトに完結する体験

¥5,000～ ¥10,000 水族館のお仕事体験等
 ⇒ 一般の方が入れない・体験できない内容がある等

¥10,000～ 漁師のお仕事体験等
 ⇒ 船に乗る等のプレミア・1泊2日での体験等

プログラム作りの流れ

体験造成ヒアリングポイント(エクセルフォーマット有)

※下記項目 イベント募集ページ作成フロー

作成フロー 必要備品 チェックリスト (FMTあり)

現場配布物

必要書類セット

イベントツーン

横断幕(海と日本)

救急箱(救急)

大人用の名刺

子ども用の名刺

子ども用の箸

子ども用のビニール袋

ゴミ袋

ぞうきん

箱

鉛筆、消しゴム

色鉛筆(レオ)

はさみ

カッター

スケッチブック

ハンダー

両面テープ

養生テープ

ビニールテープ

結束バンド

新型コロナウイルス

小型携帯消毒液

アルコール消毒液

除菌ウェット

使い捨て手袋

ビニール袋

運営時の注意点

受付対応

受付場参加者

受付時「消毒」

子ども必ず親親御さ

子どももめに、プロダ

海と日本大人用

日本財団 報告用の必須内容

PR時の注意点

リリース時などに、海と日本プロジェクトおよび、お仕事体験のリード文を必ず記載する!

文例サンプル①

海のお仕事体験プロジェクト「子どもわーく」は「リアルな仕事」をテーマにした体験プログラムを開催。本当の仕事現場で、いきいきと働く大人たちとのワクワク・ドキドキのふれ合いにより、好奇心や感受性を刺激することで、子どもたちの「生きる力」を育みます。さらに、お仕事体験を通して地域の魅力を再発見し、その魅力を発信していきます。

文例サンプル②

海のお仕事体験「子どもわーく」、は次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で開催。

「リアルな仕事体験」をテーマに、本当の仕事現場で、いきいきと働く大人たちとのワクワク・ドキドキのふれ合いにより、好奇心や感受性を刺激することで、子どもたちの「生きる力」を育みます。さらに、お仕事体験を通して地域の魅力を再発見し、その魅力を発信していきます。

【海のお仕事体験プログラム】

■名刺

お仕事終了後に当日のお仕事の講師から「修了証」の位置付けで子ども達に配布。同僚(他の参加者)や講師と名刺交換も行いました。



中央には、子どもたち一人ひとりの名前を記入しました。

※こちらは、「幼魚水族館のお仕事をしよう！」のものとなります。全てのお仕事で各お仕事に沿った制作物を用意し運営致しました。

■制作動画

イベント名	制作状況
海上保安官になって海の安全を守ろう	済
まっぷるのキッズ編集部員になって無人島を紹介しよう！	済
幼魚水族館のお仕事をしよう！	済
伊豆急で特別体験！オリジナルデザインの車両を考えよう！	済
柿田川湧水の環境を守るお仕事をしよう	済
海で人や荷物を安全に運ぶお仕事をしよう！	済



事業内容 – WEB・SNS事業 –

WEBページ

「海のお仕事図鑑」WEBでは、これまでの動画を一覧にして、見やすく設置するなどリニューアルを行いました。

トップページ



海のお仕事図鑑WEB URL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto



これまでの体験動画の一覧を掲載。一般に参加する子どもたちと新規に参画する事業者への実施イメージを持たせるコンテンツとして活用。

これまで様々な職業ジャンルの動画が増えたことで、より新規事業者の実施イメージが付きやすくなり、更に参画しやすい土壌ができている。

WEBページ

「こどもわーく夏祭り in 伊豆半島」WEBを立ち上げました。7月・8月に伊豆半島における「海のお仕事」に焦点をあて、お仕事体験イベント開催プログラムを一覧にして、各イベント詳細を簡単に確認出来るようになりました。

トップページ



こどもわーく夏祭り in 伊豆半島 WEB URL
https://iko-yo.net/topics/kodomowork_izu

伊豆半島で開催されるお仕事体験イベント一覧を掲載。子どもたちへ参加意欲を高めさせ、イベント期間中にリピートできるよう日程、場所をわかりやすく掲載した。



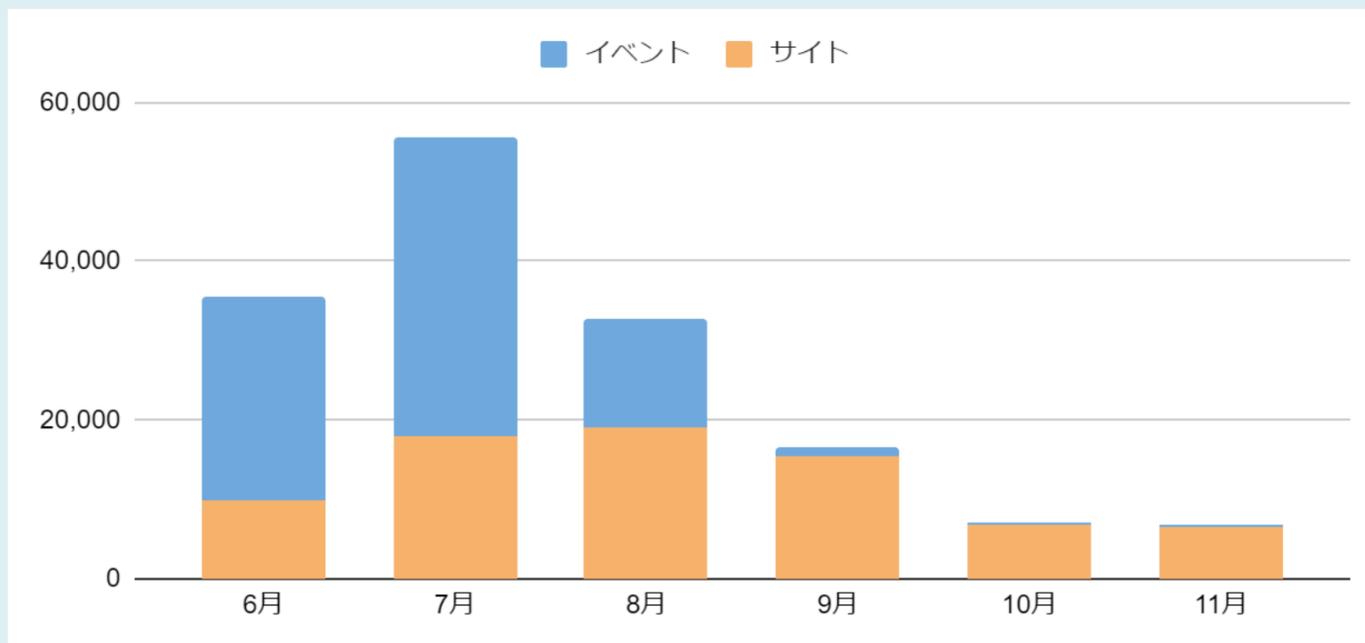
WEBサイトの定量指標等

■ **WEBサイト PV等** こちらは、メインの告知/開催期間である2022年5月1日～10月30日までのデータとなります。

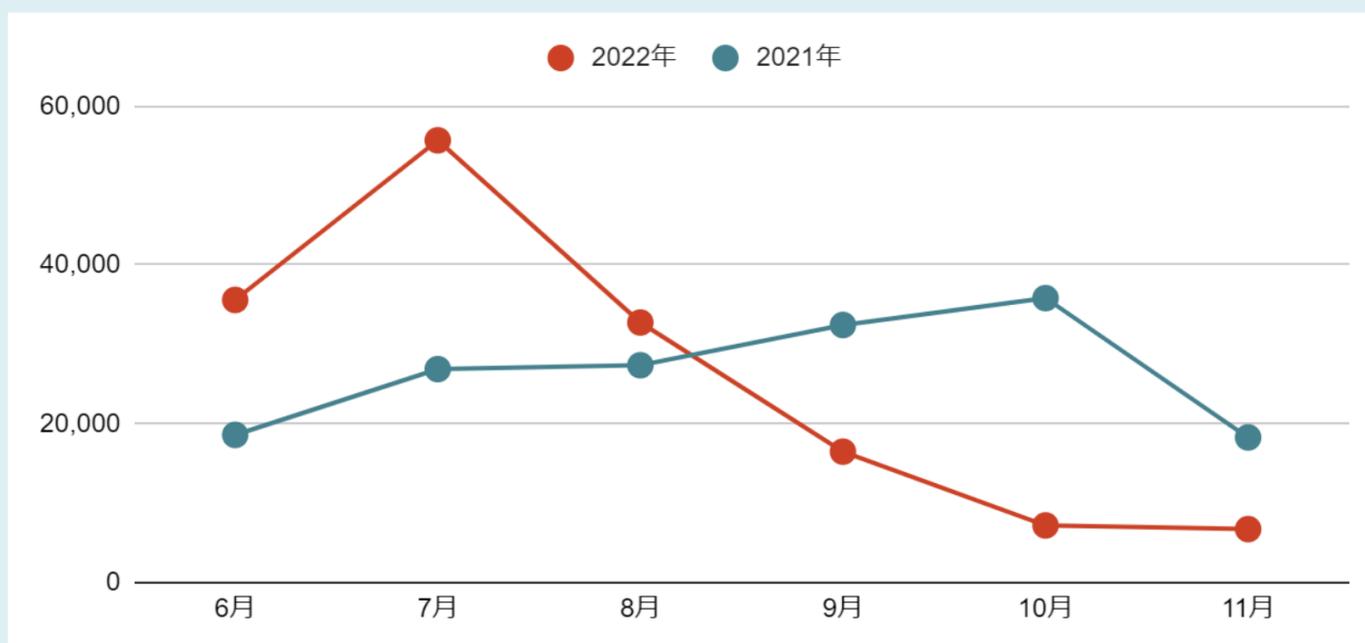
海のお仕事図鑑 総閲覧回数

167,181回以上 (昨年同月比 約1.4倍)

海のお仕事図鑑とお仕事イベントの閲覧回数



海のお仕事図鑑 PV昨対比較



SNS運用



■こどもわーく LINEアカウント

開設初年度で、“友だち数”**700以上**突破。海のお仕事体験プロジェクトのファンを育て、増やしで、様々な地域の体験を発信することで、地域を超えた海のつながりの輪を全国へと広げていく。



■こどもわーく Instagram

お仕事体験のイベントレポートや、リアルタイムのストーリーズを投稿。次年度以降の新規ユーザーの獲得に向けたSNS運用を目指し、コンテンツをストックしていく。

特定エリアでの集中展開企画「海のお仕事体験 こどもわーく夏祭りin伊豆半島」が、夏休みの定番おでかけ雑誌である昭文社「家族でおでかけ夏休み号」に無償で特集ページ（4P）が生まれ、有名書店などに並び、信頼性が高いメディア露出に強く貢献。

■ 2022年7月31日開催
「まっふるのキッズ編集部員になって無人島を紹介しよう！」



今年のはじける夏休みを過ごさせたい！家族でおでかけ 夏休み号『関東・首都圏発』『京阪神・名古屋発』6/21発売！

～注目の新スポット、夏宿、自然体験、親子キャンプ、そして好評の自由研究ラボを一挙掲載～

株式会社昭文社ホールディングス

🕒 2022年6月2日 11時00分



- ◆3年ぶりにおでかけできる夏が来る！
- ◆物価高を乗り切るコスト最高の夏休み指南本
- ◆いこーよ×海と日本PROJECT特別企画「海のお仕事体験」も掲載
- ◆マップル編集部特別参加「まっふるのキッズ編集部員になって無人島を紹介しよう！」イベントも開催



<関東・首都圏発/京阪神・名古屋発のそれぞれ表紙>

株式会社昭文社ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード：9475）とその子会社である株式会社昭文社（本社：千代田区麹町、代表取締役 川村哲也、以下昭文社）は、家族向けロングセラーガイドブック『関東・首都圏発 家族でおでかけ 夏休み号』『京阪神・名古屋発 家族でおでかけ 夏休み号』2点の最新改訂版を、2022年6月21日より発売することをお知らせします。

|| いこーよ×海と日本PROJECT特別企画「海のお仕事体験」も掲載

子どもとおでかけの情報サイトNo.1の「いこーよ」(<https://iko-yo.net/>)と日本財団「海と日本PROJECT」が取り組む特別企画「海のお仕事体験」は、海がテーマの多様な本物の仕事体験を通して、海と地域と子どもたちの好奇心をつなぐプログラムです。まっふる編集部でもこの取り組みに参加し、家族でおでかけ夏休み号の関東・首都圏発では「伊豆半島」、京阪神・名古屋発では「神戸」で開催されるこの夏限定の魅力的なお仕事体験と、合わせて立ち寄りしたい、地域の関連スポットを紹介しています。

まっふるも7月31日のイベントに特別参加！

◆イベント名称「まっふるのキッズ編集部員になって無人島を紹介しよう！」

伊豆の自然を知り尽くす「伊豆ジオガイド協会」のご協力のもと、当日参加してくれるキッズ編集部員のみなさんと、下田の無人島・赤根島を取材。無人島で見つけた、子どもたちならではの発見を記事にまとめるお仕事体験プログラムを提供します。

開催予定：2022年7月31日(日)※天候等により変更の可能性があります

応募・詳細情報等は公式サイトにて掲載 (https://iko-yo.net/topics/kodomowork_izu)

)) 商品概要 ((

商品名 : 『関東・首都圏発 家族でおでかけ 夏休み号』

『京阪神・名古屋発 家族でおでかけ 夏休み号』

体裁・頁数 : A4変判、本体128頁（関東・首都圏発 家族でおでかけ 夏休み号）

A4変判、本体104頁（京阪神・名古屋発 家族でおでかけ 夏休み号）

発売日 : 2022年6月21日

全国の主要書店および一部コンビニエンスストアで販売

定価 : 各880円（本体800円+税10%）

出版社 : 株式会社 昭文社

プロジェクトの要所でメディア誘致を実施、話題化。
yahooニュースなど配信、拡散。特定地域からお仕事体験の活動の発信を拡げていく。

■ 2022年7月23日開催
「海の安全を守るお仕事を学ぼう！」

■ 2022年7月31日開催
「まっぷるのキッズ編集部員になって
無人島を紹介しよう！」

■ 2022年8月27日開催
「伊豆の海にお客さんを運ぶ鉄道会社のお
仕事をしよう！」



フジテレヴュー！！
にて掲載

YAHOO!ニュース / ソトコト
にて掲載

鉄道新聞 / 読売新聞オンライン
にて掲載

地元新聞社のほか、「水産経済新聞」など海洋分野に特化した専門媒体に取材されるなど、地域だけでなく、業界に対して強くPR。新聞をもとにWEB系ニュースにも掲載され、情報が拡散されている。

■ 2022年7月23日開催
「海の安全を守るお仕事を学ぼう！」

■ 2022年7月24日開催
「定置網漁師のお仕事をしよう！」

■ 2022年8月6日開催
「幼魚水族館のお仕事をしよう！」



伊豆新聞にて掲載

水産経済新聞にて掲載

静岡新聞にて掲載

アンバサダーとして参画した、鈴木香里武氏や石垣幸二氏を起点に、テレビ番組「every静岡」や地元ラジオ番組等でメディア露出を強化できた。そして、各個人のSNS等でも都度発信。

■ 2022年8月6日開催 「幼魚水族館のお仕事をしよう！」



静岡第一テレビ
「news every. しずおか」
にてテレビ露出



FM みしま・かなみ
にてラジオ露出



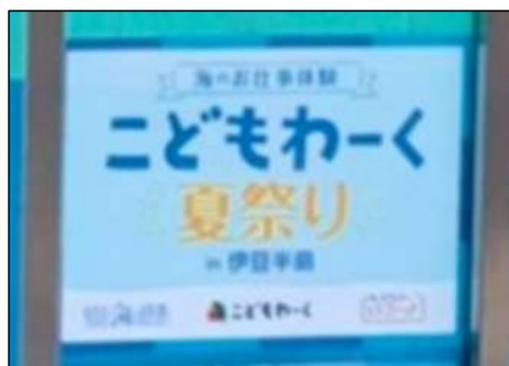
鈴木香里武氏 SNS
にて紹介

事業者が業務枠のポスターや車両のヘッドマークを提供、伊豆急全駅に駅貼りポスターの掲示を実施。

■ 2022年8月27日開催「こどもわーく夏祭り in 伊豆半島」 「伊豆急で特別体験！オリジナルデザインの車両を考えよう！」



駅貼り用 ポスター



車両のヘッドマーク



車両 中吊り広告用

